

子育て家族につなげていきたい 私のまちの「おもちゃ図書館」

東京都武蔵野市

吉祥寺おもちゃ図書館 mini

子育て支援マップが発点、 隣接三鷹市のおもちゃ図書館を見学し「私たちのまちにも！」

武蔵野市内で「子育て支援＝親への支援」「家にこもらず外に出よう」をテーマに子育てマップを数年継続作成した母親たちが核となり、吉祥寺おもちゃ図書館を2009年創設しました。きっかけは三鷹市おもちゃ図書館を見学したことで、おもちゃ図書館のインクルーシブ理念に共感し、現在、武蔵野市内でおもちゃを介した遊び場を運営しています。スタート直後からは市内外の子育て中の親子に毎週の定期開館（2009年～2022年度）とおもちゃ貸出を来館者に無料で行ってきました。活動が続けるうち、周知と地域貢献を目的として市内公共施設や団体のイベント時に年数回、工作ワークショップ（防災・減災工作など）も行なうようになりました。2011年に吉祥寺東町から吉祥寺北町の個人宅に移転、2023年4月吉祥寺北コミセンに移転し、公共施設の貸室規約のため、定期開館は月2回と減りましたが、他のワークショップなどは変わらず継続しています。（2023年度定期利用はのべ人数427名、2024年度542名）

閉館ギリギリ？なんとか活路を！

前述のように私たちは武蔵野市内で2回移転しました。1回目は開設場所が老朽化で取り壊しのため、2011年メンバーの知人宅の一室を借り、出発点だった2年間の活動場所を後にしました。新天地で12年間週一回の定期開催を中心として活動し、元々子供の発達相談をお仕事とされていた大家さんには子ども関連の悩みを聞いてもらいたくなる雰囲気のある方でした。多々助けられてきたと感じていますが、現在93歳となる大家さんが終活を決意されたため、移転を決断しました。多くのおもちゃの置き場も兼ねていたためスペースの関係で場所確保に苦労しました。

閉館または大幅縮小が何度も頭をよぎる中、懇意にしていた民生委員の紹介で現在の活動場所であるコミセンに、おもちゃの継続的な置き場も確保の上で2023年4月、移転しました。2回とも危機的状況だったにも関わらず活動継続につながったのは、地域の人との繋がりがあってこそだと思います。

相互に尊重しあえる関係が心の拠り所

難しいルールやハードなタスクを設けずにきた点良かったのでは、と思います。またメンバーの人の柄や資質、人とのつながりはもちろん、仲間を相互に尊重しフォローしあえたことも継続を可能にした大きな要因でした。メンバー同士の間関係は来館者にも影響を及ぼすことを前提に考え、活動日は「今日も楽しく始めて楽しく終えよう」と心に刻んで開場しています。いつも親に「頑張ってるね、この子がとっても素敵なのはママパパの接し方が素晴らしくて安心できてるからだよね」等、労いの言葉を惜しまずかけます。親も認められ褒められしばし癒されることで元気が湧いて成長すると信じた上で接すると開館中の雰囲気がいつも和やかです。利用者さん同士新たにお友達親子を連れてきてくれた時、ここで出会った利用者さん同士が距離をちぢめている場面など見られると、とても嬉しいです。

スタッフ同士、利用者さん親子との関係も常に尊重しあっていきたいです。また、子育て関連の資格取得などへのチャレンジはメンバー自身の成長につながりました。現在メンバーは、幼稚園教諭資格、

保育士資格、その他介護ヘルパーや、おもちゃに関する資格等を有し、得た知識と経験をフィードバックして、おもちゃ図書館活動へのやりがいをさらに見いだせていると感じます。

地縁と情報を大切に、自治体、社協、福祉団体などのつながり

武蔵野市民社協にボランティア活動団体登録し、また武蔵野市の子育てネットワークに参加して、情報收拾や情報交換を他団体や行政の担当者と続けています。武蔵野市の子育て支援団体ガイドブックに掲載され、また、他団体のブログに取り上げていただくなど、子育て家庭におもちゃ図書館の存在を認知してもらう点で役立っています。その他、市内の福祉団体主催の、災害を意識した地域防災活動のイベントに経年出展しています。災害時に役立つグッズ工作の紹介や避難所でも子どもが遊ぶパワーを大事に、と考えています。新聞紙で手軽に作れる防災スリッパは毎回好評な上、紙コップ・ストロー・紙皿など手軽に入手できる素材を材料に、安全で楽しいおもちゃ作りも同時に提案して、喜ばれています。

震災直後は「避難所でも遊ぶだなんて、そんな余裕あるの？必要なの？」とご意見いただくこともありましたが今では「遊びは子どもの心の栄養」と、世間の意識も変わりました。また「世代や状況を問わず助け合おう」と、障害児の家族団体と行事を共催する事もあります。エコバッグ作り体験などを行

なって、ゆるいつながりが続いています。地域の子ども食堂とも今後、コラボ活動の計画を練っています。

移転は身から出たサビ？今からでも中長期的な視野で活動計画を

活動場所の移転の可能性など全く考えておらず、当時は2回とも薄氷を履む思いでしたが、結果的に2回とも乗りきれたのが地元に支えられて幸運だったことは言うまでもありません。これまで単年度の助成金取得や活動計画のみの短期的視野だったことが活動の可能性を狭めていたのかと思い至りました。2年後、3年後、5年後の計画を考え、メンバーとも相談しようと思っています。計画性を持って活動していけば、今まで縁のなかった団体との関係が新たに生まれたり、そこからおもちゃ図書館を継いでくれる若い世代との出会いも期待できます。地域から信頼をさらに深めるために、中長期計画に取り組みたいと思います。



おもちゃ図書館活動場所



● 代表より一言

【今後も愛されるおもちゃ図書館活動を】全国連絡会を經由していただく、良い本いっぱい文庫からの絵本児童書、企業から頂くおもちゃや助成や素材（エコバッグ等）がとても喜ばれていて、支えられています。保育園が決まっても「第2子が生まれたら必ず連れて来ます」と再訪してくれる利用者さんもいて再会が楽しみになっています。こうやって地域に根付き続けていきたいです。（藤井美里）

場所 東京都武蔵野市吉祥寺北町1丁目 吉祥寺北コミュニティセンター

日時 第2水曜・第4水曜 10:00～12:00



ブログ